

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 平成24年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者4人、重傷者12人、軽傷者34人

(2) 住家被害

半壊2棟、一部破損59棟、床上浸水57棟、床下浸水384棟

第1表 平成24年中の災害発生状況

発生年月日 区分		災害名	大雪	強風	強風	台風4号	大雨	大雨	大雨	強風	強風	計	
			1月~3月	4/3	4/22	6/19~20	7/21	8/13~14	9/6	12/6	12/26		
人的被害	死者	人	4									4	
	行方不明者	人										0	
	負傷者	重傷	人	10	1					1			12
		軽傷	人	25	9								34
住家被害	全壊	棟										0	
		世帯										0	
		人										0	
	半壊	棟					2						2
		世帯					2						2
		人					2						2
	一部破損	棟	26	23			9		1				59
		世帯	1	31			9						41
		人	2	31			27						60
	床上浸水	棟					57						57
		世帯					54						54
		人					157						157
床下浸水	棟	2				243		139				384	
	世帯					228		17				245	
	人					548						548	
非住家	公共建物	棟		1								1	
	その他	棟	4	3			14					21	
その他	田	流失・埋没	ha									0	
		冠水	ha				6					6	
	畑	流失・埋没	ha									0	
		冠水	ha									0	
	学校	箇所										0	
	病院	箇所					1					1	
	道路	箇所										0	
	橋りょう	箇所										0	

発生年月日		災害名	大雪	強風	強風	台風4号	大雨	大雨	大雨	強風	強風	計
区分			1月~3月	4/3	4/22	6/19~20	7/21	8/13~14	9/6	12/6	12/26	
その の	河川	箇所					3					3
	港湾	箇所										0
	砂防	箇所										0
	清掃施設	箇所										0
	崖くずれ	箇所										0
	鉄道不通	箇所										0
	被害船舶	隻										0
	水道	戸										0
	電話	回線										0
	電気	戸		400	710						1,120	2,230
他 火災 発生	ガス	戸										0
	建物	件										0
	危険物	件										0
	その他	件										0
	り災世帯数	世帯					50					50
	り災者数	人					160					160
	公立文教施設	千円					2,158					2,158
	農林水産業施設	千円				11,605	98,615	9,383	5,652	90,000		215,255
	公共土木施設	千円		9,140			72,147					81,287
	その他の公共施設	千円		513								513
	小計	千円		9,653		11,605	172,920	9,383	5,652	90,000		299,213
	公共施設被害市町村数	団体		1								1
その の 他	農産被害	千円	486		6,450							6,936
	林産被害	千円										0
	畜産被害	千円										0
	水産被害	千円										0
	商工被害	千円					126,000					126,000
	その他	千円										0
	被害総額	千円	486	9,653	6,450	11,605	298,920	9,383	5,652	90,000		432,149
都道府県	設置	なし										
災害対策本部	解散	なし										
	災害対策本部設置市町村						1					1
	災害救助法適用市町村	なし										
	消防職員出動延人数	人	54	31			71		6			162
	消防団員出動延人数	人					144		8			152

2 過去5年間の災害発生状況（平成20年～24年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2008 (平20) 6.28	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 2,500千円	28日21時には前線を伴った低気圧が対馬海峡にあって東に進み、29日には前線が西日本から東海地方に停滞した。 このため、県内では強い雨が降り、奥越では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 大野23.0ミリ、越廼22.5ミリ、武生20.0ミリ (日降水量(29日)) 九頭竜118.5ミリ、大野89.0ミリ、 今庄86.0ミリ、勝山84.5ミリ
2008 (平20) 7.8	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水2棟 (3) り災世帯 2世帯 (4) 農林水産業施設被害 1,000千円	上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、午前中を中心に短時間に激しい雨となった。 (最大1時間降水量(8日)) 美浜47.0ミリ、福井44.0ミリ、美山40.5ミリ
2008 (平20) 7.27	突風	人的被害 死者 1人 重傷 1人 軽傷 10人	日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、積乱雲が発達し、積乱雲通過時に突風が発生した。 突風をもたらした現象はガストフロント、強さは藤田スケールでF0と推定される。 (日最大風速(27日)) 敦賀 16.2m/s(西北西) 12時56分 (日最大瞬間風速(27日)) 敦賀 29.7m/s(西北西) 12時49分
2008 (平20) 7.28	大雨・ 落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 公共施設被害 133千円	山陰沖から能登半島にかけて前線が停滞しており、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 このため、嶺北地方を中心に雷を伴い短時間に非常に激しい雨となった。 (日最大1時間降水量(28日)) 越廼67.5ミリ、武生51.5ミリ、今庄36.5ミリ (日降水量(28日)) 越廼89.5ミリ、武生74.5ミリ、今庄63.5ミリ
2008 (平20) 8.9	落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 3,413千円	大気の状態が不安定となり、嶺北地方で雨雲が発達した。福井市では夜、雷を観測した。 (日最大1時間降水量(9日)) 武生5.0ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2008 (平20) 8.28	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水1棟 (3) 住家被害 1世帯 (4) 農林水産業施設被害 2,000千円	福井県付近に前線が停滞し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、前線活動が活発となった。 このため、嶺北地方では非常に激しい雨が降り、総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(28日)) 大野64.5ミリ、勝山58.5ミリ、板垣56.5ミリ (日降水量(28日)) 板垣113.5ミリ、勝山97.5ミリ、大野89.0ミリ
2008 (平20) 9.3	大雨・ 落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水1棟 (3) 農林水産業施設被害 2,822千円 (4) 公共施設被害 794千円	2日21時には日本海と四国沖に低気圧があって共に北東に進む。 その後3日9時頃には寒冷前線が福井県を通過した。 このため、3日未明から朝にかけて大気の状態が不安定となり、嶺南地方では雷を伴い非常に激しい雨となった。 また、県内では降り始めからの総降水量が100ミリを超える大雨となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 美浜52.0ミリ、春江40.5ミリ、武生39.0ミリ (日降水量(3日)) 美浜147.5ミリ、武生123.5ミリ、 春江104.0ミリ
2008 (平20) 12.18	落雷	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 農林水産業施設被害 21千円	18日は冬型の気圧配置となり上空には寒気が入ったため大気の状態が不安定となった。 福井市では18日朝から昼過ぎにかけて雷を観測した。 (日最大1時間降水量(18日)) 美浜9.5ミリ、武生6.5ミリ
2009 (平21) 6.22	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水5棟 (3) 公共土木施設被害 596千円	22日には活発な梅雨前線の影響で嶺北を中心に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(22日)) 春江43.5ミリ、三国28.0ミリ、 越廼26.5ミリ (日降水量(22日)) 春江122.0ミリ、三国117.5ミリ、 越廼114.5ミリ
2009 (平21) 8.2	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水20棟	上空の寒気や湿った空気が流れ込んだ影響により、大気の状態が不安定となり、2日未明からまとまった雨となった。 (日最大1時間降水量(2日)) 福井56.5ミリ、大飯30.5ミリ (日降水量(2日)) 福井94.0ミリ、大飯63.5ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2009 (平21) 10.7~ 10.8	台風 18号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)住家被害 一部損壊2棟 床下浸水1棟 (3)非住家被害 その他1棟 (4)農産被害 16,276千円 (5)その他被害 50千円	7日には台風第18号が四国の南海上に進み、8日5時過ぎには知多半島付近に上陸し、その後、東海地方、関東甲信地方、東北地方を進み、同日夕方に太平洋に達した。 7日~8日にかけての降水量は、おおい町名田庄納田で230ミリ、小浜市遠敷で126ミリを観測した。
2009 (平21) 12.17~ 3.31	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 9人 軽傷 21人 (2)住家被害 半壊1棟 一部損壊7棟 床上浸水1棟 床下浸水6棟 (3)非住家被害 その他4棟	中旬後半から下旬にかけて強い寒気が日本付近に南下し冬型の気圧配置となった。このため、奥越を中心に大雪となった。 17日~20日にかけての降雪量の合計は嶺北の平野部では30~60センチ、大野市九頭竜では164センチとなった。最深積雪は20日に大野市九頭竜で143センチを観測した。
2010 (平22) 3.21	強風	(1)人的被害 なし (2)住家被害 なし (3)非住家被害 その他1棟	日本付近は冬型の気圧配置となり西よりの風が強まった。発達した低気圧から伸びる寒冷前線が県内を通過した影響で、県内全域で強風が吹いた。 (日最大風速) 勝山 14.3m/s(北西) 2時00分 (日最大瞬間風速) 勝山 24.6m/s(西北西) 1時53分
2010 (平22) 9.15~ 9.16	大雨	(1)人的被害 なし (2)住家被害 床下浸水16棟	日本海の低気圧と本州南岸の低気圧の影響で15日から16日にかけて大雨となった。福井市での15日正午から16日午後4時までの総雨量は125.5ミリに達した。 (日最大1時間降水量(16日)) 福井29.0ミリ (日降水量(16日)) 福井108.0ミリ
2010 (平22) 11.29	強風	(1)人的被害 重傷 1人 (2)住家被害 なし (3)非住家被害 その他3棟	上空に強い寒気が入り、大気の状態が不安定となった。 竜巻注意情報が発令され、局地的に突風が吹いた。 (日最大風速) 福井 6.1m/s(南南東)12時42分 越廼 7.4 m/s(西北西)14時31分 (日最大瞬間風速) 福井 8.2m/s(南南西)12時35分 越廼 12.7m/s(西北西)11時04分
2010 (平22) 12.3	強風	(1)人的被害 なし (2)住家被害 一部損壊1棟 (3)非住家被害 その他2棟	前線を伴った低気圧が発達しながら通過し、大気の状態が不安定となった。 気圧の谷が西から通過したため、各地で突風が吹いた。 (日最大風速) 福井 13.4m/s(西南西)13時23分 小浜 11.6m/s(西) 19時14分 (日最大瞬間風速) 福井 26.3m/s(西南西)13時16分 小浜 19.4m/s(西北西)19時08分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2010 (平22) 12.25 ~ 2011 (平23) 3.31	大雪	(1) 人的被害 死者 7人 重傷 22人 軽傷 32人 (2) 住家被害 全壊 2棟 半壊 2棟 一部破損 246棟 床上浸水 1棟 床下浸水 6棟 (3) 非住家被害 公共建物 1棟 その他 43棟 (4) 公共施設被害 33,303千円 (5) 農産被害 2,097千円	北日本上空に寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。 北陸地方と北日本の日本海側を中心に大雪や猛吹雪の恐れがあるとして、大雪、なだれ、路面凍結、突風、波浪などへの警戒が必要となった。
2011 (平23) 5.10	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 公共施設被害 25,181千円	日本海の低気圧が北日本を通過し、前線が本州付近をゆっくりと南下した。 (日最大1時間降水量(10日)) 福井14.5ミリ、大野14.5ミリ、敦賀28.0ミリ (日降水量(10日)) 福井87.5ミリ、大野111.5ミリ、敦賀112.0ミリ
2011 (平23) 5.29~30	台風 2号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 13棟 床下浸水 55棟 (3) 非住家被害 公共建物 4棟 その他 2棟 (4) 公共施設被害 723,655千円 (5) 農産被害 51,705千円	本州南岸に停滞した梅雨前線と台風第2号から変わった低気圧の影響により、嶺南を中心に大雨となり、土砂災害や浸水による被害が発生した。 (日最大1時間降水量(30日)) 小浜34.5ミリ、大飯54.5ミリ (日降水量(30日)) 小浜167.5ミリ、大飯218.5ミリ
2011 (平23) 7.7	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 11棟 (3) 公共施設被害 12,533千円	梅雨前線が北上。発達した雨雲は次第に東進、夜に北陸で激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(7日)) 福井20.5ミリ、勝山30.5ミリ (日降水量(7日)) 福井80.5ミリ、勝山149.5ミリ
2011 (平23) 8.19	大雨	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床上浸水 2棟 床下浸水 57棟 (3) 非住家被害 その他 8棟 (4) 公共施設被害 14,793千円	前線がゆっくり南下。前線上の波動が東進、朝までは北陸西部で非常に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(19日)) 福井44.5ミリ、勝山33.5ミリ (日降水量(19日)) 福井84.5ミリ、勝山57.0ミリ
2011 (平23) 9.3	台風 12号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 なし (3) 非住家被害 公共建物 1棟 (4) 公共施設被害 198千円	台風第12号の影響により、大雨や強風となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 小浜20.5ミリ (日降水量(3日)) 小浜96.0ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2011 (平23) 9. 21	台風 15号	(1) 人的被害 なし (2) 住家被害 床下浸水 1棟 (3) 非住家被害 公共建物 3棟 (4) 公共施設被害 12,928千円	本州付近に停滞した秋雨前線と台風第15号の北上に伴い、嶺南や嶺北北部を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(21日)) 福井19.0ミリ、小浜21.5ミリ (日降水量(21日)) 福井 94.5ミリ、小浜 122.5ミリ
2011 (平23) 12. 25 ～ 2012 (平24) 3. 31	大雪	(1) 人的被害 死者 4人 重傷 12人 軽傷 26人 (2) 住家被害 一部破損 26棟 床下浸水 2棟 (3) 非住家被害 その他 4棟 (4) 農産被害 486千円	平成23年12月後半から平成24年2月初めにかけて、北日本から西日本にかけては低温となり、日本海側を中心に記録的な積雪となった。この期間、シベリア高気圧の勢力が強く、冬型の気圧配置が強まった。 (日降雪量最大) 福井 34センチ1月25日 敦賀 23センチ1月26日 (最深積雪最大値) 福井 61センチ2月4日 敦賀 58センチ2月3日 九頭竜 187センチ2月9日
2012 (平24) 4. 3	強風	(1) 人的被害 重傷 1人 軽傷 9人 (2) 住家被害 一部破損 23棟 (3) 非住家被害 公共建物 1棟 その他 3棟 (4) 公共施設被害 9,653千円	前線を伴った低気圧が、日本海を急速に発達しながら東北東に進んだ。この低気圧に吹き込む南寄りの風が強まり、県内では暴風となった。 (日最大風速) 三国 25.8m/s(南南東)13時22分 敦賀 24.0m/s(南南東)12時06分 (日最大瞬間風速) 三国 35.3m/s(南南東)13時36分 敦賀 37.5m/s(南南東)12時04分
2012 (平24) 4. 22	強風	(1) 農産被害 6,450千円	前線を伴った低気圧が日本海西部を東進したため、南よりの強風となった。 (日最大瞬間風速(22日)) 福井 25.3m/s(南南東)07時50分 敦賀 28.2m/s(南東)09時05分
2012 (平24) 6. 19～20	台風 4号	(1) 公共施設被害 11,605千円	台風第4号から湿った空気が入り、梅雨前線の活動が活発となったため雨となり、ところにより大雨となった。 (日最大風速(19日)) 敦賀 12.6m/s(南南東)13時12分 (日降水量(19日)) 小浜 72.5ミリ、敦賀 64.0ミリ
2012 (平24) 7. 20～21	大雨	(1) 住家被害 半壊 2棟 一部破損 9棟 床上浸水 57棟 床下浸水 243棟 (2) 非住家被害 その他 14棟 (3) 公共施設被害 172,920千円 (4) 商工被害 126,000千円	日本の南の太平洋高気圧から、暖かく湿った空気が西日本から北陸地方に流れ込み、また、上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で、嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(20、21日)) 今立 96.0ミリ、あわら 95.0ミリ (日降水量(20、21日)) 今立 189.0ミリ、あわら 182.0ミリ

年月日	種類	被害状況	気象状況
2012 (平24) 8.13~14	大雨	(1) 公共施設被害 9,383 千円	前線が日本海を南下し、沿岸に停滞したため、大雨となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 小浜 47.0 ㎜ (日降水量(13日)) 小浜 65.5 ㎜、大野 55.0 ㎜
2012 (平24) 9.6	大雨	(1) 住家被害 一部破損 1棟 床下浸水 139棟 (2) 公共施設被害 5,652 千円	前線が日本海を東に進み、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(6日)) 福井 62.5 ㎜、今庄 61.0 ㎜ (日降水量(6日)) 福井 133.5 ㎜、春江 85.0 ㎜
2012 (平24) 12.6	強風	(1) 人的被害 重傷 1人 (2) 公共施設被害 90,000 千円	低気圧が発達しながら日本海を東に進んだため、暴風となった。 (日最大風速) 三国 12.8m/s(西南西)04時12分 越廼 13.6m/s(西)03時51分 (日最大瞬間風速) 三国 24.1m/s(西南西)04時22分 越廼 23.4m/s(西南西)04時47分

第2章 平成24年の天候概況

1 天候の特徴

冬は低温と大雪、夏から秋はかなり高温

◇ 年（1月～12月）の概況

1月下旬から2月中旬には、冬型の気圧配置や寒気の影響で気温が低く大雪の日がありました。夏は太平洋高気圧の勢力が強く、7月から10月の中旬にかけて気温が高くなりました。11月に入ると度々寒気が入り冬型の気圧配置が強まったため、気温は低くなりました。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	14.6	+0.1	平年並	2492.5	111	多い	1755.2	108	多い
敦賀	15.3	0.0	平年並	2389.0	112	多い	1680.3	108	多い

※平年値は、1981年～2010年の30年平均値です。

◇ 暴風

4月3日から4日にかけて低気圧が急速に発達しながら日本海を東北東進し、低気圧からのびる寒冷前線が西日本から東日本にかけて通過しました。

福井県内では3日未明以降、東南東から南の風が強く吹きはじめ、寒冷前線が通過する昼前から夕方までの間は非常に強く吹いたところがありました。前線通過後の夕方から夜遅くにかけては西から西北西の風が強く吹きました。

このため、3日の日最大風速は三国で南南東25.8 m/s（13時22分）、敦賀で南南東24.0 m/s（12時06分）、福井で南南東19.7 m/s（13時11分）を観測しました。また、日最大瞬間風速は敦賀で南南東37.5 m/s（12時04分）、三国で南南東35.3 m/s（13時36分）、福井で西南西30.9 m/s（17時59分）を観測しました。

◇ 夏の高温

8月下旬～9月中旬にかけては、日本付近の上空では北東海上を中心に偏西風が大きく北に蛇行しました。

このため、日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が非常に強まるとともに、北・東日本に張り出しました。高気圧の張り出しに伴って南から暖かい空気が流れ込んだことや、高気圧に覆われて晴れたことなどにより気温がかなり高くなりました。

◇ 11月下旬からの低温

日本付近は数日の周期で低気圧が通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置の強まる時期がありました。

このため、曇りや雪または雨の日が多く、特に12月9日～12日頃と24日～26日頃は北からの強い寒気が流れ込んだ影響で、大雪となった所がありました。

◇ 台風

発生数は25個(平年値25.6個)となり、上陸数は2個(平年値2.7個)、接近数は2個(平年値2.5個)となりました。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生			1		1	4	4	5	3	5	1	1	25	25.6
上陸						1			1				2	2.7
北陸地方に 接近した台風						1			1				2	2.5

※台風の中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としています。

2 月別気象概況

◇ 2012年(平成24年)月別気象概況

1月

冬型の気圧配置や寒気が流れ込んだ影響で雪や雨の日が多くなりました。特に下旬は雪の日が多く、山地を中心に大雪となった所がありました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年より低く、月降水量は、福井、敦賀共に平年並、月間日照時間は福井で平年より多く、敦賀で平年より少なくなりました。

2月

上旬と中旬は、冬型の気圧配置や寒気が流れ込んだ影響で雪や雨の日が多くなりました。嶺南では大雪となった所もありました。また、各地で最低気温が氷点下になるなど寒さが続きました。下旬は、晴れ間もありましたが、寒暖の差が大きくなりました。

月平均気温は、福井で平年よりかなり低く、敦賀で平年より低く、月降水量は、福井で平年より多く、敦賀で平年よりかなり多く、月間日照時間は福井、敦賀共に平年より少なくなりました。

3月

天気は周期的に変わりました。中旬から下旬にかけて断続的に寒気が入ったため、気温が低くなりました。

月平均気温は、福井、敦賀共に平年並に、月降水量は、福井、敦賀共に平年より多く、月間日照時間は福井、敦賀共に平年より少なくなりました。

4月

高気圧や低気圧が交互に通過したため、天気は周期的に変わりました。上旬は、寒気の影響で気温は低くなり、下旬後半には、高気圧に覆われ晴れたため、気温がかなり高くなりました。

月平均気温は、三国、福井、小浜で平年より高く、そのほかは平年並となりました。月降水量は、美浜、九頭竜で平年並、そのほかは平年より少なくなりました。月間日照時間は、平年並か平年より少なくなりました。

5月

上旬や下旬は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となることが度々あり、所々で雷雨となりました。15日には、前線を伴った低気圧の影響で大雨となりました。

月平均気温は、平年並か、平年より低くなりました。月降水量は、敦賀、美山では平年並で、そのほかは平年より少ないか、平年よりかなり少なくなりました。月間日照時間は、福井、三国、今庄では平年並で、そのほかは平年より少なくなりました。

6月

上旬と下旬は高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、中旬を中心に梅雨前線や低気圧、台風第4号の影響で曇りや雨となりました。

月平均気温は、今庄で平年より低いほかは、平年並となりました。月降水量は、嶺北で平年より少ないところが多く、そのほかは平年並みとなりました。月間日照時間は、今庄、敦賀、小浜では平年並で、そのほかは平年より多くなりました。

7月

月の前半は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨となりましたが、後半は太平洋高気圧に覆われ、晴れて気温の高い日が続きました。20日と21日には、暖かく湿った空気が流れ込んだため、局地的に大雨となりました。

月平均気温は、勝山で平年並のほかは、平年より高くなりました。月降水量は、越廼で平年より少なく、三国、福井で平年より多く、そのほかは平年並となりました。月間日照時間は、三国で平年並のほかは、平年より多くなりました。

8月

月の中ごろと終りに前線の影響や大気の状態が不安定となったため、大雨となりましたが、そのほかの日は、太平洋高気圧に覆われ概ね晴れました。

月平均気温は、今庄で平年より高く、そのほかは平年よりかなり高くなりました。月降水量は、福井は平年より少なく、大野、美浜は平年より多く、そのほかは平年並となりました。月間日照時間は、勝山、小浜は平年より多く、そのほかは平年よりかなり多くなりました。

9月

前線や南からの湿った空気、台風第17号の影響で、大雨となった日がありましたが、太平洋高気圧に覆われ晴れた日が多く、気温が高く、日照時間がかなり多くなりました。

月平均気温は、勝山、大野、今庄で平年より高く、そのほかは平年よりかなり高くなりました。月降水量は、三国、福井、美山で平年より多く、そのほかは平年並となりました。月間日照時間は、全ての地点で平年よりかなり多くなりました。

10月

台風、低気圧、前線や気圧の谷と高気圧が交互に通過したため、天気は周期的に変わりました。

月平均気温は、勝山、大野、今庄、小浜で平年並となったほかは、平年より高くなりました。月降水量は、勝山、大野、九頭竜、今庄で平年並となったほかは、平年より多いか、かなり多くなりました。月間日照時間は、美浜で平年より多いほかは、平年よりかなり多くなりました。

11月

高気圧と低気圧や気圧の谷が交互に通過したため、天気は周期的に変わりました。

月平均気温は、すべての地点で平年より低くなりました。月降水量は、小浜は平年よりかなり多く、大飯は平年並、そのほかは平年より多くなりました。月間日照時間は、三国、越廼、福井、大野は平年よりかなり少なく、そのほかは平年より少なくなりました。

12月

高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、数日の周期で低気圧が通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置が強まったため、曇りや雪または雨の日が多くなりました。

月平均気温は、勝山で平年より低く、そのほかは平年よりかなり低くなりました。月降水量は、小浜で平年よりかなり多く、そのほかは平年より多くなりました。月間日照時間は、敦賀で平年よりかなり少なく、小浜で平年並、そのほかは平年より少なくなりました。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

平成24年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法、消防組織法、福井県地域防災計画、福井県石油コンビナート等防災計画等に基づき、中部ブロック7県の緊急消防援助隊および県内の防災関係機関、関係企業・団体および地域住民参加のもとに防災訓練等を実施し、災害時における防災関係機関相互の連携を深め、広域的な防災体制の充実強化を図るとともに、自助、共助意識の醸成など住民の防災意識の高揚を図る。

2 日時

<1日目> 平成24年11月9日(金) 9:00～

- ・企業、学校による津波避難訓練
- ・緊急消防援助隊参集訓練等

<2日目> 平成24年11月10日(土) 8:00～13:00

- ・県災害対策本部会議設置・運営訓練
- ・各防災機関による実動訓練

3 場所

- (1) 坂井市三国町 「テクノポート福井」および周辺海域
- (2) 福井市・坂井市 「国家石油備蓄基地」
- (3) 坂井市春江町 「福井空港」「嶺北消防組合消防本部」
- (4) 福井市 「福井県庁」「福井市消防局」
- (5) 福井市・坂井市沿岸の企業および幼小中学校

4 主催・共催

福井県総合防災訓練

主催：福井県、福井市、坂井市

緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練

主催：総務省消防庁、平成24年度緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練福井県実行委員会

共催：静岡県消防長会、愛知県消防長会、岐阜県消防長会、三重県消防長会、
富山県消防長会、石川県消防長会、福井県消防長会

5 訓練参加機関(順不同)

(1)指定地方行政機関等

中部管区警察局福井県情報通信部、東京管区气象台福井地方气象台、

北陸地方整備局敦賀港湾事務所、北陸総合通信局、近畿地方整備局福井河川国道事務所

(2)消防関係

緊急消防援助隊(静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県)、
福井県消防広域応援隊(福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、
永平寺町消防本部、嶺北消防組合消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、
南越消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、若狭消防組合消防本部)

(3)警察関係

福井県警察本部、福井南警察署、坂井西警察署

(4)自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊(第14普通科連隊、第10後方支援連隊、
第10飛行隊、第372施設中隊)、海上自衛隊舞鶴地方総監部、
航空自衛隊(第6航空団、小松救難隊、小松管制隊)

(5)海上保安庁

第八管区海上保安本部(舞鶴海上保安部、敦賀海上保安部、福井海上保安署)

(6)医療関係

(社)福井県医師会、日本赤十字社福井県支部、福井赤十字病院、
福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、福井県青年赤十字奉仕団、
坂井市赤十字奉仕団、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井県立病院、
福井県済生会病院、福井大学医学部附属病院、市立敦賀病院、
杉田玄白記念公立小浜病院、福井総合病院、岐阜大学医学部附属病院

(7)企業・団体等

テクノポート福井企業協議会、福井県防災士会、NPO法人日本災害救援飛行協会、
西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTドコモ北陸支社、
ドコモエンジニアリング北陸(株)、KDDI(株)、ソフトバンクモバイル(株)、
(株)ウィルコム、北陸電力(株)福井支店、北陸電力(株)福井火力発電所、関西電力(株)、
日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構、(社)福井県エルピーガス協会、
福井県高圧ガス地域防災協議会、(社)日本コミュニティーガス協会
近畿支部福井県防災会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、
福井県婦人防火クラブ連絡協議会、中日本高速道路(株)金沢支社、
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)金沢支社、日本郵便(株)北陸支社、
西日本旅客鉄道(株)金沢支社福井地域鉄道部、北陸地方非常通信協議会、
(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構福井国家石油備蓄基地事務所、
福井石油備蓄(株)福井事業所、東西オイルターミナル(株)福井油槽所、
ジャパンオイルネットワーク(株)福井油槽所、福井埠頭(株)、(株)三国、
三国共同防災協議会、福井港災害事故防止対策協議会、北陸地区広域共同防災協議会

(8)教育機関

国見小学校、国見中学校、長橋小学校、鷹巣小中学校、棗幼稚園、棗小中学校、越廼小学校、越廼中学校、三国西小学校、福井大学医学部、福井県立大学、福井県立看護専門学校

(9)地方公共団体

福井県、富山県、石川県、福井市、坂井市

6 協力

吉野石膏(株)、敦賀セメント(株)、宇部三菱セメント、港のホテル 他 テクノポート福井内企業、協同組合大野商業開発、(社)福井県自動車販売店協会

7 訓練種目

(1) 初動訓練

応援要請等情報伝達訓練、応援活動調整・指揮支援本部設置運営訓練、参集訓練、受援対応訓練

(2) 図上訓練

支援部隊活動方針検討・調整訓練、消防応援活動調整本部（以下「調整本部」）設置運営訓練
緊急消防援助隊指揮支援本部（以下「指揮支援本部」）設置運営訓練

(3) 野営訓練

(4) 実動訓練（メイン会場およびその周辺）

災害情報収集・画像伝送訓練、現場誘導・道路開削訓練、合同指揮本部設置運営訓練
ブラインド型部隊運用訓練（中高層建物救出訓練、土砂埋没・水難救助訓練、倒壊建物救出訓練、毒劇物災害対応訓練、多数傷病者対応訓練、街区火災消火訓練）、
超高層工作物救出訓練、津波救助訓練、ライフライン復旧訓練、
防災ヘリコプター等による傷病者の搬送及び空中消火訓練、石油コンビナート火災消火訓練

8 災害想定

福井県嶺北北部を震源とするマグニチュード7.1の地震および福井県嶺北北部沖を震源とするマグニチュード7.4の地震が相次いで発生し、福井市および坂井市で震度7を観測するとともに、嶺北地方の広い範囲で震度5強以上の揺れを観測した。市街地では家屋の倒壊や火災の発生、道路やライフラインが寸断する等被害が多数発生した。

さらに福井県沿岸部に津波警報（大津波）が発表され、沿岸部には高さ4～8mの津波が押し寄せて家屋に甚大な被害が発生した。

Ⅲ 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	20	21	22	23	24
総合防災訓練	日時	平成20年9月7日(日) ※当日中止	平成21年10月18日(日)	平成22年8月29日(日)	平成23年8月28日(日)	平成24年11月9日(金) ～11月10日(土)
	場所	南越前町今庄365スキー場	テクノポート福井 福井空港、福井県庁 他	春日野工業団地 奥越ふれあい公園 他	麻生野土砂採取場跡地 若狭町小川地区沖 鳥羽小学校 他	テクノポート福井、福井空港
	主催	福井県、丹南地域各市町	近畿2府7県、各府県消防長会、 福井市、坂井市、あわら市、永平 寺町 他	福井県、大野市、勝山市	福井県、若狭町	福井県、福井市、坂井市
	参加機関	78	200	77	80	150
	訓練種目	36	40	35	36	66
	想定	地震による災害 ※大雨・洪水警報発令のため、住民避難 訓練と防災研修会のみ実施	地震による災害	大雨と地震による災害	地震と津波による災害	地震と津波による災害
	参加人員	480	3,600	1,600	5,400	2,500
	日時					
	場所					
	主催		近畿府県合同防災訓練 (上記)の中で実施			
石油 コンビナート等 原子力(総合訓練) 防災訓練	日時	平成20年10月25日(土)	平成21年11月22日(日)	平成22年10月26日(火)	平成24年3月18日(日)	
	訓練対象施設	関西電力(株) 高浜発電所3号機	関西電力(株) 美浜発電所3号機	関西電力(株) 大飯発電所4号機	日本原子力発電(株) 敦賀発電所2号機	
	主催	福井県、高浜町、おおい町	福井県、美浜町、敦賀市	福井県、おおい町、小浜市、高浜町	福井県、敦賀市、美浜町、南越前町	
	参加機関	120	120	120	120	
	訓練種目	13	11	11	12	
	想定	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出 周辺環境に影響を及ぼすおそれ	放射性物質放出のおそれ	
	参加人員	2,000	1,500	1,500	3,500	
	日時					
	場所					
	主催					福井県総合防災訓練・ 緊急消防援助隊中部ブロック 合同訓練(上記)の中で実施
参加人員					未開催	

IV 市町別自主防災組織の結成状況

平成25年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福 井 市	95,017	1,146	94,222	94,222	99.2%
敦 賀 市	27,722	84	2,670	22,479	81.1%
小 浜 市	11,678	92	978	6,437	55.1%
大 野 市	11,525	164	6,213	10,713	93.0%
勝 山 市	7,966	111	1,521	6,757	84.8%
鯖 江 市	21,918	150	7,151	21,473	98.0%
あ わ ら 市	9,879	80	2,561	7,425	75.2%
越 前 市	27,050	256	9,520	26,906	99.5%
坂 井 市	29,401	174	3,185	20,266	68.9%
永 平 寺 町	6,006	90	5,617	5,501	91.6%
池 田 町	1,035	21	152	1,033	99.8%
南 越 前 町	3,501	65	817	2,979	85.1%
越 前 町	7,249	50	1,011	5,245	72.4%
美 浜 町	3,719	19	2,771	2,379	64.0%
高 浜 町	4,088	3	156	426	10.4%
お お い 町	3,175	12	1,525	986	31.1%
若 狭 町	4,994	82	1,435	4,698	94.1%
合計・ 平均	275,923	2,599	141,505	239,925	87.0%

※管内世帯数は、住民基本台帳人口に基づく人口、世帯数調べ（平成25年3月末現在）

第4章 平成24年度防災行政無線利用状況

概 況

昭和56年度から運用を開始した防災行政無線は、平成7年度から9年度に、デジタル多重無線回線や衛星回線による2ルート化を整備するとともに、衛星車載局の導入により、災害現場からの映像による情報伝達が可能となるなど通信体制を強化した。平成18、19年度には、60MHzから260MHzへの周波数移行を行い、衛星回線、多重無線回線、260MHzデジタル通信回線、260MHzヘリ用通信回線等で構成されるようになった。また、通常時においても、電話、FAX、水防テレメータ等にも活用されている。しかし、大部分の設備は、導入から15年が経過し老朽化が進むとともに部品の生産中止により修繕が困難な状況となっているため、平成24年度に再整備のための実施設計を行い、平成25年度から再整備を行う計画である。

今後とも、災害時において防災行政無線を利用した情報収集・伝達が迅速に行えるよう、定期的に通信訓練を行うとともに、計画的な設備の更新を行っていく。また、全局を対象に機器の保守点検を実施するとともに、各局の防災行政無線担当者や防災関係機関等との連携を強化していく。

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧 (平成25年4月1日現在)

〔固定系〕

区 分	現局数		現 設 置 場 所
	地上系	衛星系	
統 制 局	1	1	県庁
中 継 局	7		越知山 (越前町大谷寺) 久須夜ヶ岳 (小浜市堅海) 村国山 (越前市村国) 陣ヶ岡 (坂井市三国町陣ヶ岡) 八ツ杉 (越前市別印) 岳山 (美浜町早瀬) 青葉山 (高浜町中山)
支 部 局	8		8土木事務所 (福井、三国、大野、勝山、武生、朝日、敦賀、小浜)
合 庁 局	3		3合同庁舎 (福井、丹生、坂井)
ダ ム 管 等 局	11		原子力センター (敦賀市吉河) 龍ヶ鼻ダム管 (坂井市丸岡町上竹田) 龍ヶ鼻ダム下流事務所 (坂井市丸岡町長畝) 永平寺ダム (永平寺町志比) 笹生川ダム管 (大野市中野) 笹生川堰堤 (大野市本戸) 広野ダム管 (南越前町今庄) 広野堰堤 (南越前町広野) 榊谷ダム (南越前町宇津尾) 浄土寺川ダム (勝山市村岡町浄土寺) 大津呂ダム (おおい町本郷)
小 計	30	1	
端 末 局	県出先機関	16	16：健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、三州、若狭) 武生福祉保健部、県立病院、越前漁港、福井港湾 敦賀港湾、福井空港、環境センター、防災航空事務所 坂井上水、日野川上水
	市 町	31	9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭 9旧町：美山、清水、今立、丸岡、三国、永平寺、今庄、越前、上中 5旧村：越廼、和泉、上志比、河野、名田庄
	消防本部	9	9消防本部 (福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭)
	国・公共機関等	15	15：福井気象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ
	小 計		71
衛 星 車 載		1	
可 搬 型 地 球 局		1	
合 計	30	74	

[移動系]

区 分		局 数	設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11	県庁統制局 中継局 (越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、八ツ杉) 土木事務所 (勝山、敦賀) 笹生川ダム管
	第二全県移動	8	県 庁 中 継 局 (越知山、久須夜ヶ岳、村国山) 土木事務所 (三国、勝山、大野、敦賀)
	FWA (18GHz)	1	土木事務所 (三国)
	400MHz 防災相互	1	防災航空事務所
	計	21	
携帯基地局 (ヘリ用) 260MHzデジタル		5	中継局 (越知山、久須夜ヶ岳) 土木事務所 (三国、大野、敦賀)
航 空 局		5	防災航空事務所 (可搬用含む)
陸 上 移 動 局	全県移動局 260MHzデジタル	車載型 47	県庁 3台 土木事務所 42台 (福井6台、三国6台、大野4台、勝山3台、武生7台、朝日6台、敦賀4台、小浜6台) 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型 39	県出先機関8台: 健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭) 県立病院、防災航空事務所
			市9台: 福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
			町8台: 永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
			消防本部9台: 福井、嶺北、永平寺、大野、勝山、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭 防災関係機関5台: 福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
		携帯型 70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
		携帯型 (他機関) 28	原子力センター 3台、地域医療課 25台
	小 計 184		
	第二全県移動局	車載型 17	県庁 14台、奥越合同庁舎、若狭合同庁舎、衛星車載局
		可搬型 5	県庁 5台
		小 計 22	
	FWA (18GHz)	1	陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所
		携帯型 11	県庁 2台、防災航空事務所 9台
		小 計 12	
防 災 移 動 局	車載型 1	防災航空事務所、400MHz 防災相互	
	携帯型 5		
	小 計 6		
計		225	
携 帯 局 (ヘリ用)	防災用 1	防災ヘリコプター	
	消防用 1	"	
	小 計 2		
航 空 機 局		航行運航用 1	
簡 易 無 線 局		2	簡易画像伝送装置
合 計		261	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

平成24年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの 平均使用回数	一局当たりの 月平均使用回数
支 部 局	163,598	13,633	(8局) 1,704
合庁・ダム管等局	95,416	7,951	(17局) 468
県出先機関	5,599	467	(15局) 31
市 町	975	81	(30局) 2.7
消 防 本 部	352	29	(9局) 3.3
国出先機関	31	2.6	(5局) 0.5
公 共 機 関	78	6.5	(9局) 0.7
原子力発電所	40	3.3	(6局) 0.6
合 計	266,089	22,544	(99局) 224

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

平成24年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指令回数	258	1,660	634	2,552	414	161	3,127
前年比(%)	136	106	98	106	65	218	101

[指令種類別]

平成24年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指令回数	2,610	115	338	294	30	3,387
前年比(%)	106	97	67	88	214	99

(3) 一斉指令月別通信回数

平成24年中

区分	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気警報	26	8	0	10	0	4	50	38	62	12	0	48	258
内象注意報	140	157	148	126	100	56	149	150	140	154	192	148	1660
関係情報	94	85	62	34	24	17	43	59	55	27	40	94	634
事務連絡	38	27	20	36	22	24	47	39	27	23	30	81	414
テス ト	21	10	26	9	11	14	6	6	15	14	24	5	161
計	319	287	256	215	157	115	295	292	299	230	286	376	3127
全 県	267	268	219	167	127	87	250	219	245	209	247	305	2610
県 出 先	16	6	0	3	5	4	7	10	15	9	23	17	115
市 町	33	8	28	48	20	22	36	56	23	9	12	43	338
消 防	21	11	29	35	23	6	32	53	20	9	11	44	294
そ の 他	5	0	5	1	0	0	4	6	4	1	3	1	30
計	342	293	281	254	175	119	329	344	307	237	296	410	3387

備考)市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

平成24年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	2,434	2,612	2,878	2,988	2,819	2,501	2,347	2,165	2,583	2,851	2,869	2,385	31,432
三国支部	1,430	1,583	1,580	1,542	1,571	1,487	1,483	1,465	1,441	1,788	1,568	1,469	18,407
大野支部	1,448	1,460	1,615	1,835	1,791	1,754	1,855	1,595	1,511	1,806	1,629	1,590	19,889
勝山支部	284	436	461	415	351	351	324	257	279	353	397	333	4,241
武生支部	1,980	2,399	2,749	2,928	2,791	2,605	2,625	2,412	2,231	2,789	2,588	2,136	30,233
朝日支部	1,164	1,397	1,539	1,601	1,217	1,344	1,260	1,058	1,274	1,522	1,375	1,207	15,958
敦賀支部	1,343	1,419	1,579	1,965	1,742	1,488	1,440	1,313	1,282	1,368	1,323	1,406	17,668
小浜支部	1,900	2,111	2,481	2,399	2,501	2,198	2,089	1,842	1,965	2,263	2,056	1,965	25,770
福井合庁	3,337	3,796	4,498	5,125	5,070	4,575	4,621	4,285	4,150	4,724	4,417	3,925	52,523
坂井合庁	960	1,231	1,406	1,547	1,657	1,404	1,305	1,185	1,250	1,391	1,329	1,180	15,845
奥越合庁	322	343	457	274	334	276	269	308	253	393	277	285	3,791
南越合庁	849	943	1,088	1,240	1,230	952	986	893	933	1,092	1,025	885	12,116
敦賀合庁	49	74	80	92	104	81	71	98	105	90	74	50	968
若狭合庁	0	0	1	5	2	2	0	3	2	5	6	1	27
丹生合庁	306	480	484	472	437	449	441	423	439	460	564	488	5,393
原子力センター	130	182	227	133	163	125	108	169	125	136	97	93	1,688
笹生川ダム	73	75	135	117	137	92	101	96	120	132	108	91	1,277
広野ダム	1	118	5	3	0	2	2	1	3	3	0	0	138
広野堰堤	0	78	1	10	3	8	5	7	4	2	6	8	132
龍ヶ鼻ダム	19	32	74	47	63	48	44	35	25	38	34	33	492
榑谷ダム	2	2	0	1	4	8	19	9	14	15	13	14	101
浄土寺川ダム	0	1	0	3	6	11	6	13	14	14	5	3	76
永平寺ダム	0	5	0	3	0	2	0	0	1	1	1	1	14
大津呂ダム管	0	0	76	102	117	84	81	81	57	54	72	79	803
笹生川堰堤	0	1	0	3	4	5	0	3	8	3	5	0	32
計	18,031	20,778	23,364	24,850	24,114	21,852	21,482	19,716	20,069	23,293	21,838	19,627	259,014

4 端末局無線通信回数調

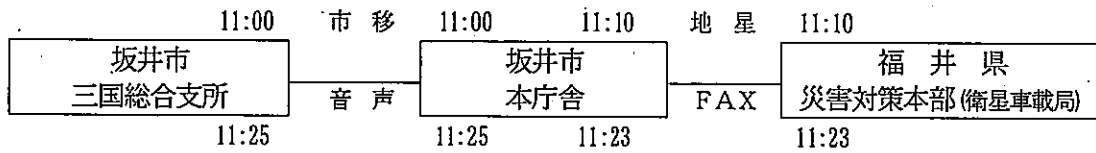
平成24年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	70	衛 生 環 境	2,491	福 井 気 象 台	6
福 井 市 美 山	19	福 井 保 健	103	鯖 江 自 衛 隊	8
福 井 市 清 水	12	坂 井 保 健	84	舞 鶴 自 衛 隊	6
福 井 市 越 廼	10	大 野 保 健	69	敦 賀 海 保	6
敦 賀 市	44	鯖 江 保 健	192	福 井 海 保	5
小 浜 市	38	武 生 保 健	19	国 出 先 計	31
大 野 市	69	二 州 保 健	154	福 井 駅	8
大 野 市 和 泉	28	若 狭 保 健	46	N H K	9
勝 山 市	40	県 立 病 院	345	福 井 テ レ ビ	6
鯖 江 市	42	越 前 漁 港	52	福 井 放 送	8
あ わ ら 市	66	福 井 港 湾	476	F M 福 井	8
越 前 市	33	敦 賀 港 湾	1,425	日 赤 福 井	7
越 前 市 今 立	16	福 井 空 港	33	福 井 県 医 師 会	4
坂 井 市	39	坂 井 上 水	28	福 井 火 力	6
坂 井 市 三 国	22	防 災 航 空 事 務 所	82	福 井 備 蓄	22
坂 井 市 丸 岡	11	県 出 先 計	5,599	公 共 機 関 計	78
市 計	559	福 井 消 防	51	原 電 敦 賀	6
永 平 寺 町	41	大 野 消 防	40	関 電 美 浜	10
永 平 寺 町 上 志 比	15	勝 山 消 防	45	関 電 高 浜	6
池 田 町	52	永 平 寺 消 防	39	関 電 大 飯	8
南 越 前 町	56	嶺 北 消 防	41	原 子 力 機 構 ふ げ ん	6
南 越 前 町 今 庄	17	鯖 江 丹 生 消 防	49	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	4
南 越 前 町 河 野	10	南 越 消 防	29	原 子 力 発 電 所 計	40
越 前 町	39	敦 賀 美 方 消 防	30		
越 前 町 越 前	10	若 狭 消 防	28		
美 浜 町	48	消 防 計	352		
高 浜 町	37				
お お い 町	34				
お お い 町 名 田 庄	14				
若 狭 町	30				
若 狭 町 上 中	13				
町 計	416				
市 町 計	975			合 計	7,075

5 非常無線通信実施状況

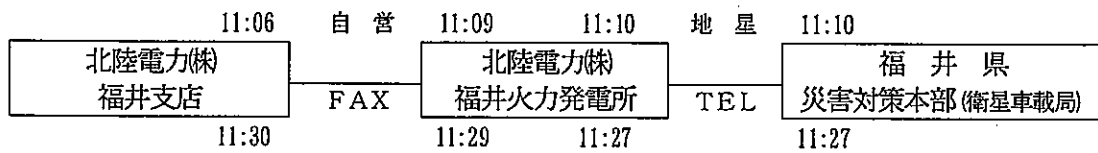
(1) 平成24年度 福井県総合防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成24年11月9日)

- ・坂井市三国総合支所から福井県災害対策本部へ往復信



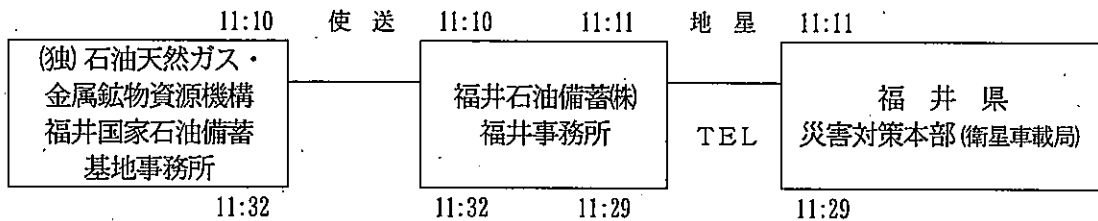
所要時間 往信 10分 復信 2分

- ・北陸電力(株)福井支店から福井県災害対策本部へ往復信



所要時間 往信 4分 復信 3分

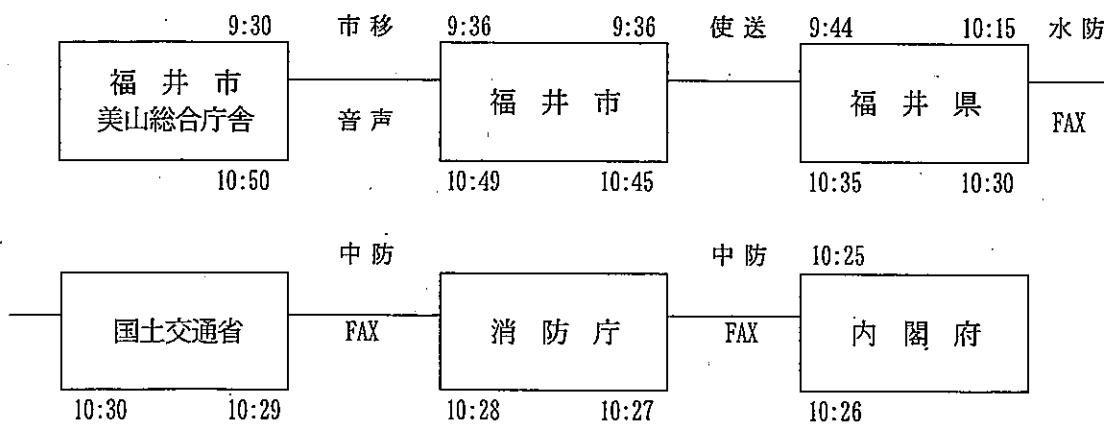
- ・(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構福井国家石油備蓄基地事務所から福井県災害対策本部へ往復信



所要時間 往信 1分 復信 3分

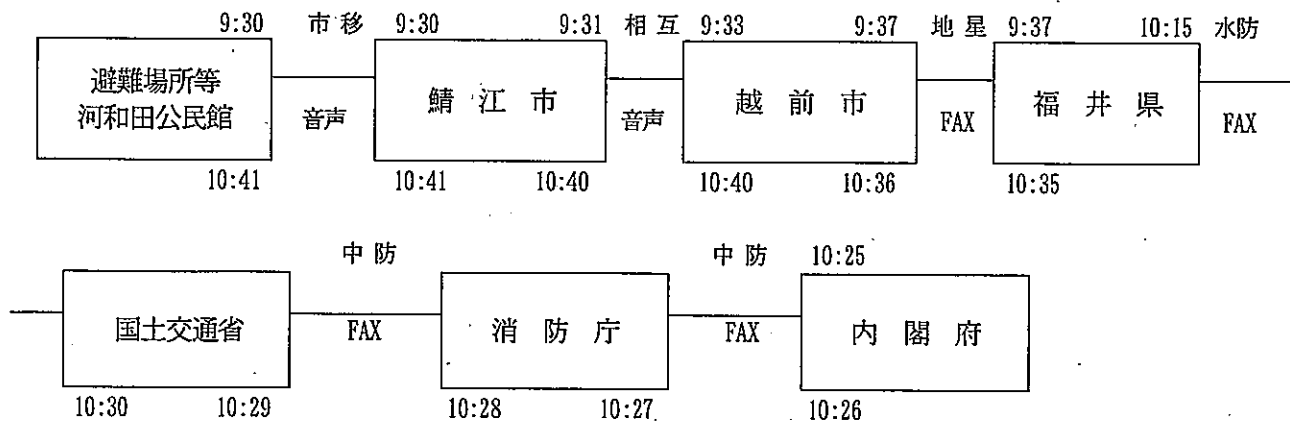
(2) 平成24年度 第75回全国非常通信訓練 (平成24年11月22日)

- ・福井市美山総合庁舎から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



所要時間 往信 55分 復信 24分

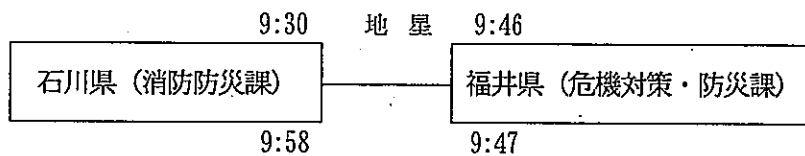
・避難場所等（河和田公民館）から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



所要時間 往信 55分 復信 15分

(3) 平成24年度 石川県総合防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成24年9月2日)

・石川県から福井県あて往復信



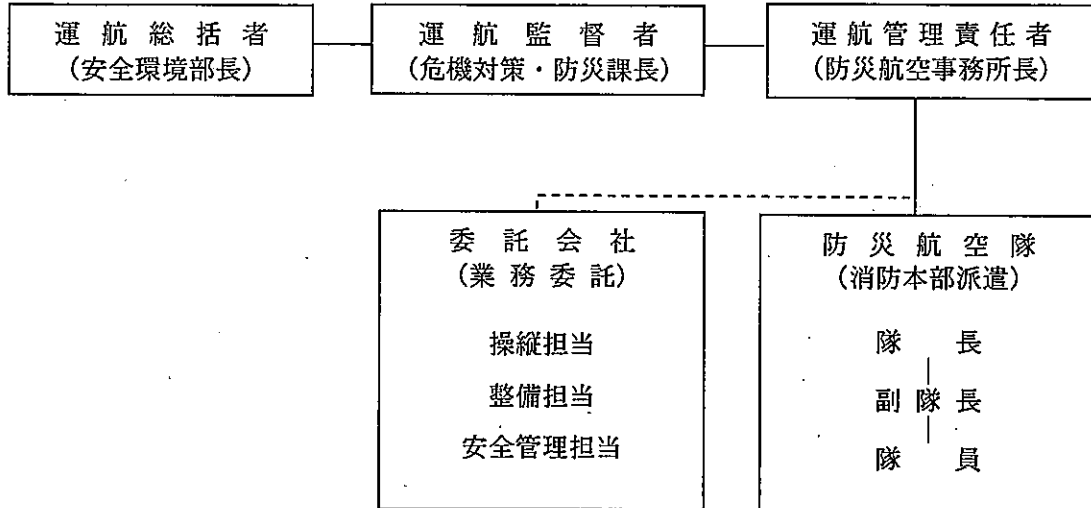
所要時間 往信 16分 復信 11分

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

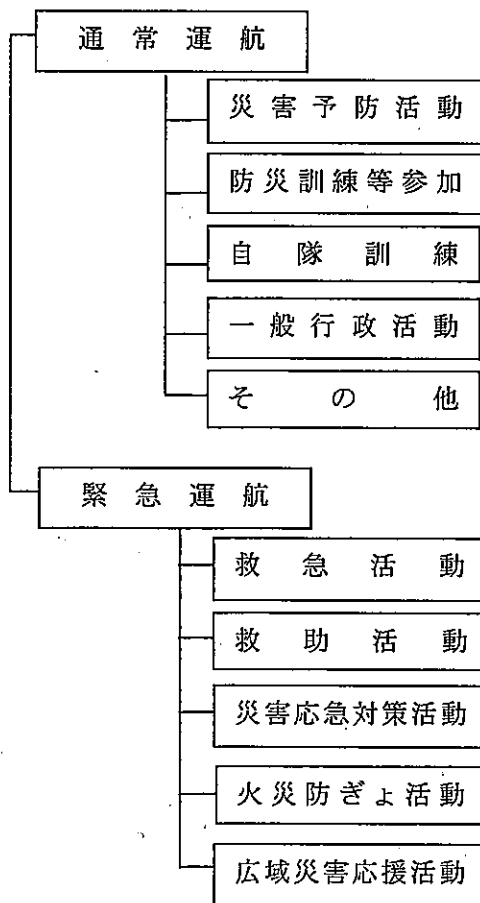
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 (ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-1
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,350kg
最大搭載可能重量	1,586kg
航続距離（機外タンク使用）	740km
担架搬入装置	4基
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,300kg
全長	13.00m
全高	3.85m
最大速度	278km/h
航続時間	3.3h
着陸方式	スキッド方式

第1表 福井県防災ヘリコプター一運航実績表（年度別）

平成25年3月31日現在

区分	緊急運航						通常運航						合計	
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害応援	計	自隊訓練	防災訓練参加	災害予防活動 危険箇所調査	災害予防活動 広報	一般行政	整備		その他
平成14年度	件数 18 時間 15:14	21 24:45	3 4:55	1 0:10	4 7:52	47 52:56	91 110:01	57 48:39	10 11:50	5 8:55	25 26:29	4 1:30	4 9:02	243 269:22
平成15年度	件数 25 時間 16:10	29 16:20		1 0:35	2 2:15	57 35:20	140 180:41	58 51:55	6 7:20	7 12:35	19 19:46	3 7:07	5 2:20	295 317:04
平成16年度	件数 32 時間 23:17	32 36:59	5 13:00	5 5:27	9 19:22	83 98:05	91 109:25	44 38:15	7 9:23	2 6:12	7 10:05	7 10:20	3 2:02	244 283:47
平成17年度	件数 36 時間 27:24	27 18:46		4 4:09	8 11:19	75 61:38	98 135:21	38 30:20		6 11:30	11 13:07	5 7:40	2 1:26	235 261:02
平成18年度	件数 35 時間 25:00	26 27:31	4 3:26		1 1:08	66 57:05	96 131:13	43 37:04	3 5:00	3 19:28	16 2:09	6 2:09	3 2:19	233 254:18
平成19年度	件数 36 時間 18:15	37 40:29		3 8:27	2 1:02	78 68:13	107 148:44	60 58:03		3 11:15	9 7:32	19 18:04	6 5:17	282 317:08
平成20年度	件数 34 時間 30:41	27 19:05			7 7:30	68 57:16	96 122:16	48 39:54		3 11:17	7 6:22	12 9:36	12 14:09	246 260:50
平成21年度	件数 21 時間 7:36	28 23:32		3 1:01	15 31:21	67 63:30	82 127:17	45 34:06		3 10:49	4 3:17	10 10:03	4 4:42	215 253:44
平成22年度	件数 22 時間 9:31	26 19:26			15 21:26	63 50:23	128 162:56	40 30:53		4 10:24	3 4:57	4 7:21	3 2:46	245 269:40
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46	39 29:10		4 16:10	4 5:08	3 5:23	4 3:31	241 250:26
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61 46:39	162 183:11	39 27:30		3 11:08	1 1:40	5 7:41	5 2:03	276 279:52

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容
福井県消防学校内

2 運用組織図

使用管理者 (危機対策・防災課長)	運用統括責任者：運用総括業務	1名
	通信機器操作員：通信機器類の操作、調整 県庁統制局の操作、調整	2名 1名
	情報収集伝達員：情報の収集、伝達	2名

3 運 用

非常時の運用

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

平常時の運用

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径 1.8 m
駆動部	電動/手動	
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能	

<送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

<端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4CH
	一斉指令用	1CH
	デジタル画像送信用	1CH
	デジタル画像受信用	1CH
	デジタル画像(準動画)用	1CH
	デジタル画像変復調部	動 画：6 Mbps 準動画：64 kbps / 384 kbps 切替可能

<一斉指令装置>

一斉指令	衛星系端末局向けに音声・FAXによる発令可能
種 別	全対象局一斉、全市町村一斉、全消防一斉、地域/区分指定、個別局指定

<その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
第二全県移動車載型無線装置	150MHz 複信方式(または半複信方式)
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送